

植物多様性センターの「カンアオイの歴史」

現在、雑木林エリアのカンアオイが開花しています。日本は世界の中でも植物多様性が高い国といわれ、その代表種ともいえるのがカンアオイ類(狭義のカンアオイ節)で、日本に分布するほとんどが固有種となっています。遺伝子解析技術の発展により、移動分散能力が極めて低いことがわかり、その結果から1万年に数km程しか分散していないといわれています。このことは日本の中だけでこれほど多様化する理由の裏付けとなっています。



葉:常緑で葉は落ちない。



花:枯葉と同系色で見つけづらい



花の中:中央に花柱がみえ、萼片に包まれる(花弁はない)



近い仲間のタマノカンアオイの花:現在学習園にはありません